

・新社長に聞く

インフォメーションクリエイティブ

[4769・JQ]

大企業を中心に100社以上と取引するSier、インフォメーションクリエイティブ(4769、以下IC)。2019年10月、同社で約40年の経験を持つ齋藤良二氏が新社長に就任した。顧客と信頼関係を築き業績を拡大させてきた同社は近年、新規事業の創出にも注力。堅実さと挑戦力の両輪を武器に、近い将来には売上高100億円、経常利益率8%を目指す。



齋藤良二社長

PROFILE◎さいとう・りょうじ 1961年11月20日生まれ、宮城県出身。80年インフォメーションクリエイティブ入社。2013年、取締役役に就任。19年12月、代表取締役社長に就任(現任)。

40年以上の老舗Sier、新社長就任 安定のIT業と挑戦のチケット業で飛躍へ

セグメント別に前期売上高をみると、ソフトウェア開発・システム運用などを行う「ITソリューション事業」が98・5%を占め、残る1・5%は自社パッケージ製品を提供する「ITサービス事業」となる。ITソリューション事業は堅調を維持しているものの、情報サービス業界全体の課題でもある人材不足が課題。そこで同社が推し進めるのは、外注比率の上昇だ。現在、ICは100社以上の中小Sierとビジネスパートナーシップを締結。パートナー企業への外注を増やすことで、受注額拡大を目指す。

「既存事業の安定化と新サービスへの挑戦」をコンセプトに掲げた中期経営計画の最終年度を迎えた。既存事業である「ITソリューション事業」の拡大は達成したものの、新規事業創出は実現できなかった反省が

ため、安定して受注が獲得できる堅実性が強みです」(齋藤良二社長) 2019年9月期は、売上高は前期比7・1%増の83億5500万円、経常利益は同10・1%増の5億5000万円となり増収増益。売上高と当期純利益は過去最高となった。今期も引き続き好調を維持しており、売上・利益面全てで過去最高を更新する見通しだ。

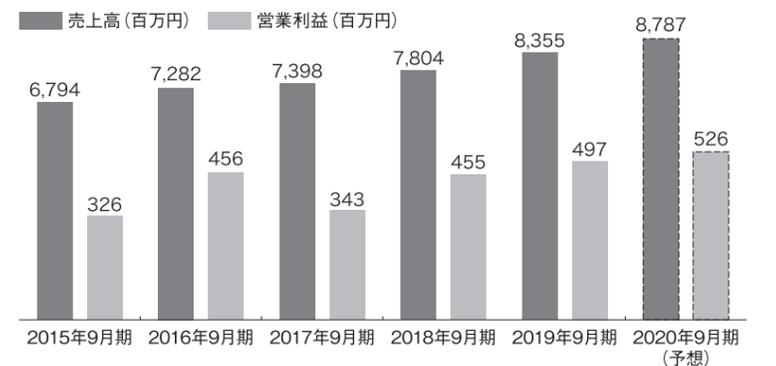
「40年以上の歴史を持つ当社は、大手企業との取引が大半を占めます。このため、パートナー企業は当社を介して大規模プロジェクトに携わることが出来ます。また、近年はパートナー企業の技術者が長く働きスキルアップできる環境作りに入れています。これまではパートナー企業へ

の外注が単発化していましたが、例えば新人技術者を育成し易くするためのチーム化や、3年以上1つの現場にいた技術者は異なる現場に移動して仕事してもらおう、というように長く働きスキルアップできる環境づくりを進めています」(同氏)

**安定の主軸と挑戦の新事業で
攻守両立**

一方で、近年育成を進めるのがITサービス事業だ。同社は前期に

■売上高と営業利益の推移



「既存事業の安定化と新サービスへの挑戦」をコンセプトに掲げた中期経営計画の最終年度を迎えた。既存事業である「ITソリューション事業」の拡大は達成したものの、新規事業創出は実現できなかった反省が

あった。そこで、同社が同事業の主軸と位置付けるのが「チケット販売・管理システム」for Windows。主力商品の「チケット」for Windows「は、興行主が会場やイベントなどのデザイン登録から予約・発券・販売・顧客管理までを一括で行えるウェブサービスだ。利便性の高さから、これまで日本中央競馬界(JRA)や劇団、楽団、ドーム球場、大学などが導入してきた。



▲訪日・在留ベトナム人用ウェブマガジン「LocoBee」

マガジン「LocoBee」がある。同社によると、2018年に日本へ観光に来たベトナム人は約40万人で、留学先や技能実習を含めた就業先としても日本は人気を集めている。LocoBeeではベトナム語で観光情報などを配信する他、オンライン日本語学習サービスや求人情報を提供。口コミなどで徐々に認知度を上げた

結果、正式公開から約1年半で月間100万PVを達成した。今期から開始した新中期経営計画では、引き続き「基盤事業収益拡大と新規事業創出への挑戦」を標榜。「将来的にはITサービスを総売上高の20%まで拡大させたい」(同氏)

2022年9月期には売上高95・4億円、経常利益率7・5%まで拡大する計画だ。また、株主還元策も推進。昨年度には5期連続で増配しており、配当性向は43・0%と高水準を維持する。

「安定的な配当を心掛けています。たとえ業績が悪い時期があっても、配当金を前年より下げたことはこれまでありません。これからも堅実である一方で、新規事業を通じて新たなステージにいききたい」(同氏)



▲LINEと連携した次世代チケットシステム「チケット for LINE Hybrid」

この他のITサービス事業としては、訪日・在留ベトナム人用ウェブ

基礎データ		
直近株価	799円 (20.1/29終値)	
昨年来高値	1,248円 (20.1/22)	
昨年来安値	520円 (19.1/4)	
時価総額	61.8億円	
PER:15.4倍	PBR:1.27倍	利回り:2.63%
■2019年9月期 通期連結業績		
売上高	83億5500万円	7.1%増
営業利益	4億9700万円	9.2%増
経常利益	5億5000万円	10.1%増
当期純利益	3億7600万円	9.1%増
■2020年9月期 通期連結業績予想		
売上高	87億8700万円	5.2%増
営業利益	5億2600万円	5.9%増
経常利益	5億7500万円	4.4%増
当期純利益	4億200万円	6.8%増